

こんにちは 森林官です!

宗谷森林管理署
利尻森林事務所
森林官 土井尻 康輔



姫沼から利尻山を望む

自然豊かな利尻島
利尻森林事務所は、北海道の北部、日本海に位置する利尻島の国有林全域を管理しています。当事務所が管理する国有林の面積は約12,500haで、利尻島の面積のおよそ7割にあたります。利尻島には利尻富士町、利尻町の2つの自治体があり、当森林事務所は利尻富士町に所在しています。

利尻の地名はアイヌ語の「リ・シリ(高い・島)」が語源であり、島の中央には利尻富士の名でも知られる最北の百名山、利尻山(標高1,721m)がそびえ立ち、山頂付近には貴重な高山植物の花々が咲き誇ります。また、姫沼やオタトマリ沼といった湖沼があり、湖面に映る利尻山を眺めながら大自然の中を散歩することができます。

島の主な産業は水産業と観光業であり、利尻の豊かな森林は海を潤し豊富な海産物を育みます。利尻のウニや昆布は高級食材として全国に知られています。



昆布の天日干し

森林官の仕事

森林官は地域の国有林の窓口として様々な業務を担っています。その業務は国有林を適切に管理するための林野巡視にはじまり、林内の状況確認や林道の維持管理、山火事の予防対策や入林者への対応などを行っています。また、大雨になると土砂災害等が発生する危険な箇所を中心に点検を行い、災害の防止に努めています。請負事業体による植栽、下刈りなどの事業実行

の監督も森林官の重要な業務です。島内ではこのような事業により植栽したトドマツ等が順調に生長し、森林資源は成熟してきております。今後は、これらの資源を有効に活用することを検討しなければならぬと考えます。



下刈りを実行した現場

また、観光シーズンには当森林事務所でGSS(グリーン・サポート・スタッフ)を雇用し、森林官とともに入林者へのマナー啓発活動や歩道の簡易な整備などを行っています。

その他、毎年秋には、「お魚を殖やす植樹運動」として、利尻漁業協同組合女性部が行う植樹祭に国有林のフィールドを提供するとともに植樹指導

など、漁業関係者による森づくりを支援しています。



植樹祭の様子

利尻島は従来、ヒグマやエゾシカは生息していない島として知られていましたが、今年5月に106年ぶりにヒグマが島に上陸したことが、当森林事務所設置した自動撮影カメラに写り、確認されました。入林者等の安全確保のため、引き続き、自動撮影カメラによるヒグマの行動確認やパトロール、注意喚起を行うて参ります。

結びに

利尻の豊かな森林を後世に引き継ぐため、地元の方々のご理解とご協力を得ながら、今後とも日々努力して参ります。